










(R7) 竹松屋外還水管取替工事

件名	(R7)竹松屋外還水管取替工事					図面番号	1/5
図名	表紙					縮尺	—
業務隊長	管理科長	営繕班長	水行係長	営繕主任	工事企画係	管財係	作成者
				 			
陸上自衛隊 竹松駐屯地業務隊						令和7年12月9日	

仕 様 書

1 件 名
(R7)竹松屋外還水管取替工事

2 場 所
長崎県大村市富の原1-1000 陸上自衛隊竹松駐屯地

3 概 要

施 工 場 所	施 工 内 容	施 工 数 量	備 考
屋 外	屋外還水管	一式	数量は別途記載
	配管錆止め塗装	一式	屋外配管は全て錆止め塗装2回塗り（耐熱温度300℃以上）
	配管保温取替	一式	数量は別途記載
	配管ラッキング取替	一式	数量は別途記載
	試運転調整	一式	
	その他付帯工事	一式	
	産業廃棄物処理	一式	

4 一般事項

- (1) 本工事において図面及び特記仕様書に記載なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修及び、防衛省整備計画局の下記の書類によるものとする。
・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)最新版
・公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)最新版
・防衛施設共通仕様書(燃料施設等機械設備工事編)最新版
- (2) 本工事に際し疑義を生じた場合は、監督官と協議しその指示に従うこと。
- (3) 本工事に際し、仕様書に記載なき事項で技術的に当然施工すべき事項については、請負業者の責任において施工すること。
- (4) 本工事に際し、構造物等に損傷を与えないよう十分注意することとし、万一損傷を与えた場合は、請負業者の責任において原形復旧すること。
- (5) 本工事に際し、事故・火災防止及び第三者への被害等の安全管理には十分注意することとし、万一災害等発生した場合は、請負業者の責任において処置するとともに、速やかに監督官に報告すること。
- (6) 本工事に必要な電気及び水は請負業者が負担するものとする。なお、官側の電気及び水を使用する場合は監督官の承認後使用すること。ただし、後日料金を徴収する。
- (7) 工事写真は、施工前、施工中、施工後、主要な工事段階毎、隠蔽箇所、全ての使用材料及び発生材、監督官の指示する箇所を撮影し、A4縦サイズに3枚を基準に整理し監督官に提出すること。なお、写真データは工事完了後確実に破棄すること。
- (8) 本工事に際し、監督官が指示した書類は速やかに作成し提出すること。
- (9) 本工事に使用する材料は全て新品とし、監督官の検査を受け合格後使用すること。
- (10) 本工事で発生する発生材について、金属類は重量を測定し、監督官へ引き渡し、それ以外のものは請負業者の負担において適切に処分を行うこと。
- (11) 作業終了時は、現場の清掃及び片付けを実施すること。
- (12) 本仕様書及び図面に記載されている寸法等は標準寸法であるため、施工に先立ち現場調査の上、実施すること。

5 特記事項

- (1) 屋外配管の継手は全て溶接接合とする。又、溶接箇所は錆止め2回塗り塗装をすること。
- (2) 屋外配管の支持金物は亜鉛メッキ製、ローラーは鋳物製、吊りボルトはステンレス製に取替えること。
- (3) 施工に際し、道路上が通行止めになる場合は監督官と十分な打合せを行うこと。
- (4) 使用中の蒸気管は高温のため取替部分の施工を行うときは監督官と調整を行い作業を行うこと。
- (5) 配管接手類は、1Mpa以上でJIS規格品とし、鋼管と同等以上の強度及び耐熱性を有するものとする。
- (6) 新設各配管接続後、監督官立合いのもと水圧試験を実施し、漏れが無いことを確認後、次の工程に移るものとする。

- (7) 既設置水管と取替配管の端部及び、弁類と接合する配管はフランジを溶接で取り付け、フランジ部にはメタルパッキンを使用すること。
- (8) 還水管の保温は公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)第3章保温、塗装及び防錆工事、表2.3.2保温種別、蒸気管E2・(イ)、(ロ)・IIによる。

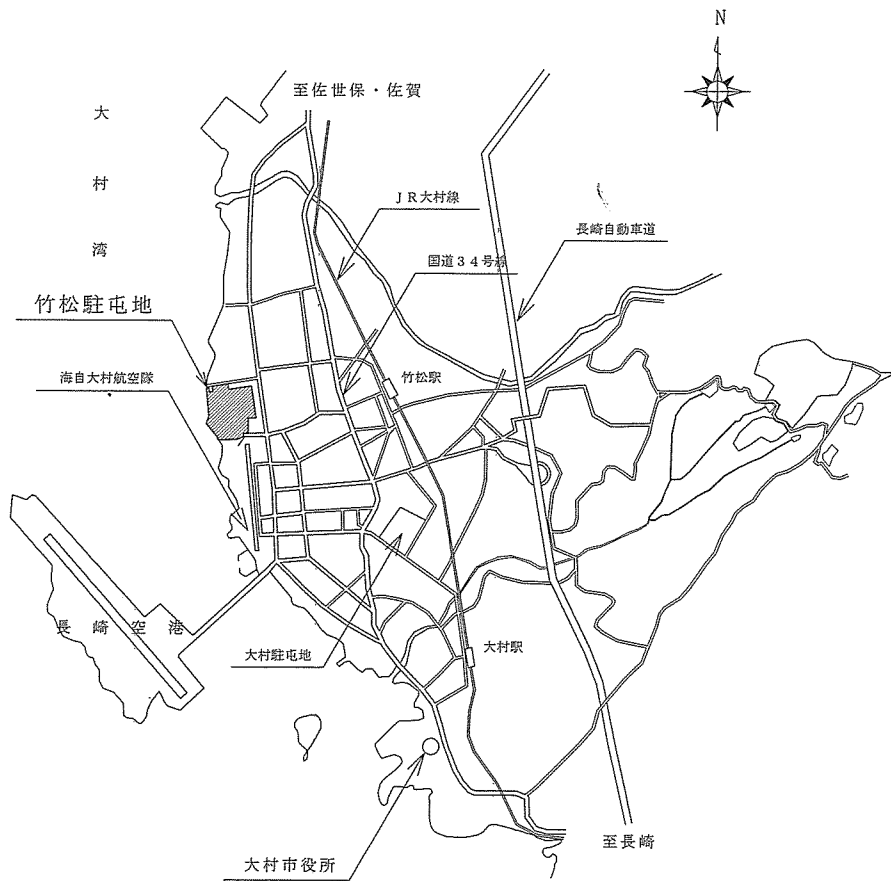
6 提出書類

- (1) 作業前に提出する書類(各2部)
計画工程表、現場代理人等通知書、承認図、その他監督官が指示する書類
- (2) 作業完了後に提出する書類(各2部)
実施工程表、工事写真、出荷証明書、発生材報告書・調書及びその他監督官が指示する書類

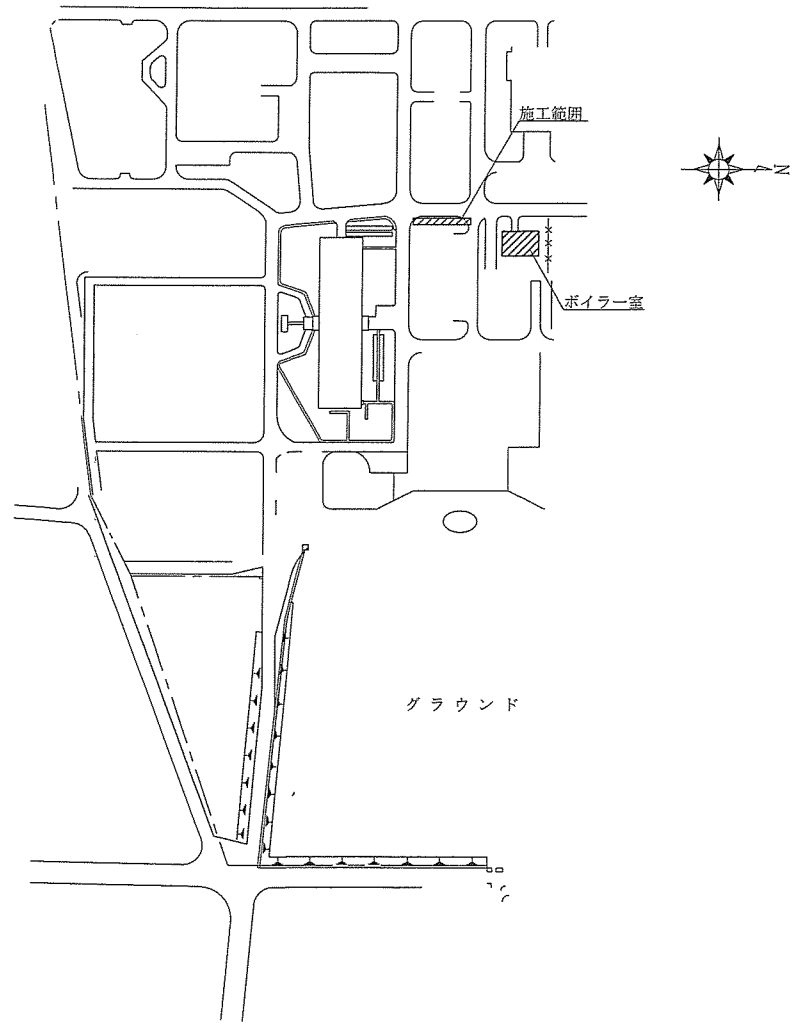
7 完成検査

官側検査官による現場及び提出書類の検査を行い、『検査合格』をもって本工事の完成とする。

件 名	(R7)竹松屋外還水管取替工事	図面番号	2/5
図 名	仕様書	縮 尺	—
陸上自衛隊 竹松駐屯地業務隊		令和7年12月9日	

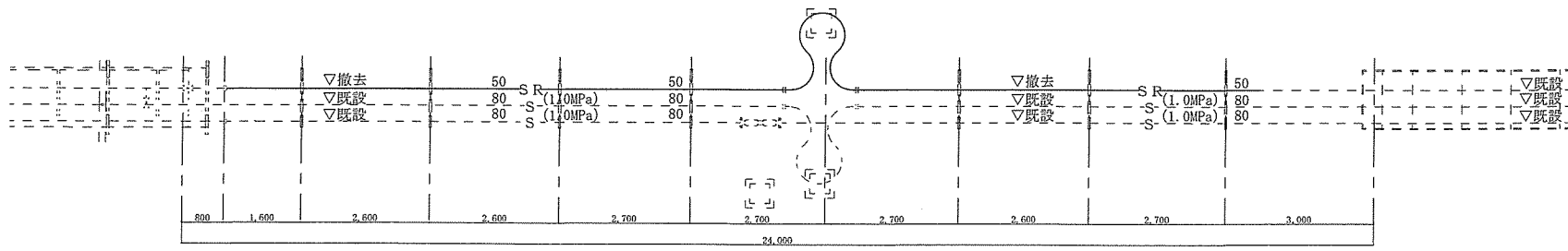
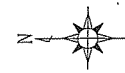


案内図 S=1/X



配置図 S=1/X

件名	(R7)竹松屋外還水管取替工事	図面番号	3/5
図名	案内図・配置図	縮尺	図示
陸上自衛隊 竹松駐屯地業務隊		令和7年12月9日	



屋外配管平面図（撤去） S=1/100

凡例

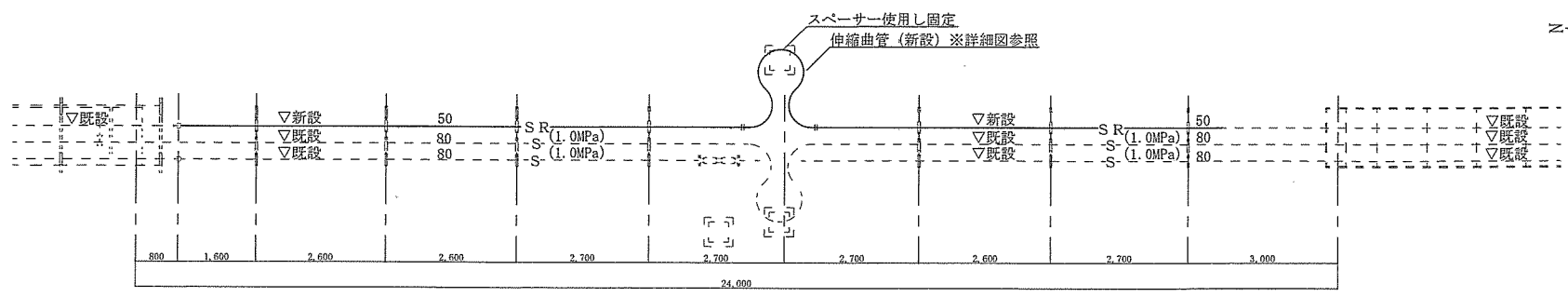
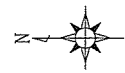
種別	記号
蒸気管	S
還水管	SR
玉形弁	⊗
ボールジョイント	○
フランジ	— —
立下り・立上り	⊖-○
エルボ	└┘

弁その他付属品撤去数量

種別	数量
伸縮曲管50	1個
吊りローラー50	7個

配管撤去数量

記号	規格(名称)	保温厚	ラッキング	数量(m)
SR	圧力配管用炭素鋼管 (SCH-40・黒) 50A	40	ステンレス	20.5m



屋外配管平面図（新設） S=1/100

配管新設数量

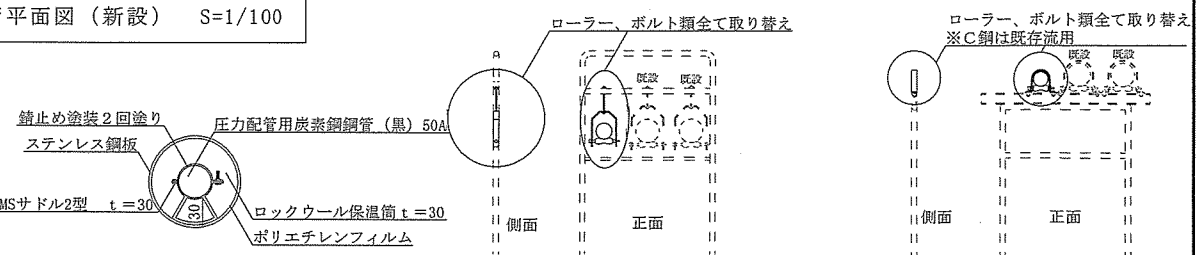
記号	規格(名称)	規格(番号)	保温厚	錆止め塗装	ラッキング	数量(m)
SR	圧力配管用炭素鋼管 (SCH-40・黒) 50A	JIS G 3454	30	2回塗り	ステンレス	20.5m

凡例

種別	記号
蒸気管	S
還水管	SR
玉形弁	⊗
ボールジョイント	○
フランジ	— —
立下り・立上り	⊖-○
エルボ	└┘

弁その他付属品新設数量

種別	規格(番号)	保温厚	ラッキング	数量
伸縮曲管50	詳細図参照	30	ステンレス	1個



還水管断面図 S=1/10

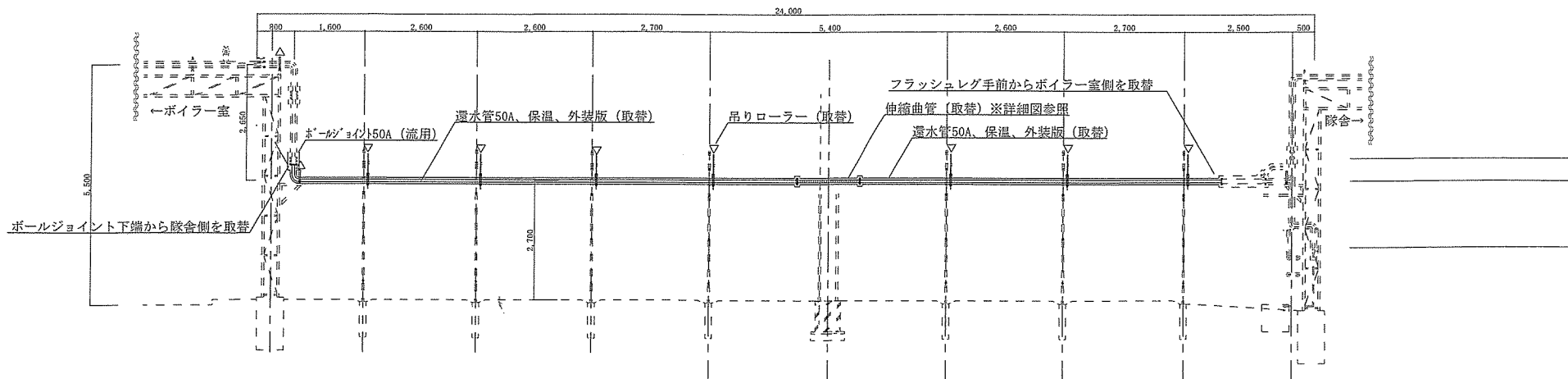
吊りローラー詳細図 S=1/50

置きローラー詳細図 S=1/50

弁その他付属品新設数量

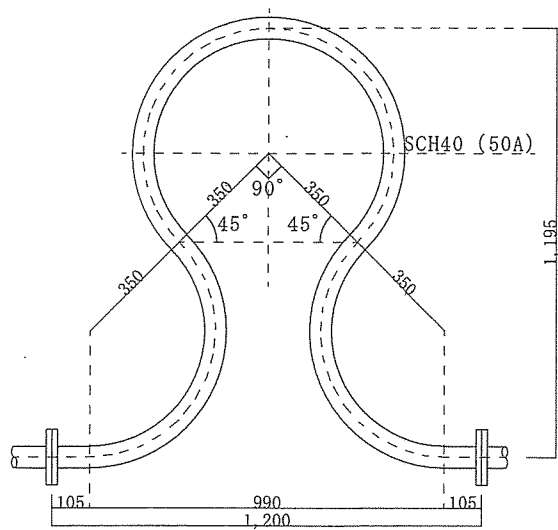
種別	数量	備考
吊りローラー150A用	7個	亜鉛メッキ
置きローラー150A用	1個	亜鉛メッキ
MSサドル2型50A用 t=30	8個	亜鉛メッキ

件名	(R7)竹松屋外還水管取替工事	図面番号	4/5
図名	屋外配管平面図(撤去・新設)	縮尺	図示
陸上自衛隊 竹松駐屯地業務隊		令和7年12月9日	



※▽は吊りローラー、△は置きローラー新設部。

屋外配管立面図 S=1/100



伸縮曲管詳細図 S=1/15

件名	(R7)竹松屋外還水管取替工事	図面番号	5/5
図名	屋外配管立面図・伸縮曲管詳細図	縮尺	図示
陸上自衛隊 竹松駐屯地業務隊		令和7年12月9日	